

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	1	学校名	静岡県立下田高等学校 (南伊豆分校)	記載者	稲垣 博
------	---	-----	-----------------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
ア	すべてに優先する 安心安全な学校づくり	○登下校時の交通事故 0件。 ○重大事態発生0件。 ○いじめアンケート（年 3回）。	A	A	2026年4月からの自転車の交通違反に対する「青切符」の導入指導を徹底してほしい（ヘルメット着用指導など）。 アンケートの活用と教員間の情報共有、聞き取り・早期発見・早期対応のもと、今後も安心安全な学校づくりを期待する。
		○防災訓練（年2回）。 ○外部講師による防災教育の実施。	A	A	地域の防災訓練にも積極的に参加してほしい。 防災訓練・外部講師による防災教育・教員の初期消火訓練の取り組みは、防災意識の向上と実践的な備えとして大いに評価できる。
イ	基本的活習慣を確立させ、自立心を持った生徒を育てる生活指導の充実	○毎朝の登校指導。 ○職員室入室指導。	A	A	社会に出るにあたり挨拶は基本である。今後も相手の目を見てしっかりと話せる訓練をしてほしい。
		○HR活動等でのコミュニケーション能力向上プログラム。	A	A	職場ではコミュニケーション能力は大切である。コミュニケーション能力向上プログラムを計画的に実施し、将来につなげてほしい。
		○授業を大切にし、学習習慣を身につけ、提出物の期限を遵守する生徒80%以上。 ○長欠・不登校0、出席率98%以上。 ○遅刻者数、前年度より減。 ○マナー・モラル向上（言葉遣い、服装・礼節等）指導（年5回以上）。 ○定期テスト前生活時間帯調査（年3回以上）。	B	B	提出物への対応は目標を達成し、身だしなみを整える生徒が増加した点は評価できる。 出席率や遅刻の課題、長期欠席生徒への対応の難しさも見られるため、個に応じた継続的な支援・指導を期待する。

様式第5号

		<p>○図書館だよりの発行（年3回以上）。</p> <p>○図書室機能向上と貸出数80冊。</p>	A	A	<p>図書室の充実は生徒の学びや読書に親しむ習慣の定着につながる。今後のさらなる充実に期待する。</p>
ウ	地域の特性を生かし、農業の多面性を活用した学習の展開	<p>○地域機関や人材との連携20回以上。</p>	A	A	<p>現在の取り組み（園児～社会人まで）は、生徒の学習意欲の向上につながっている。今後の継続と発展に期待している。</p>
		<p>○県大会（意見・プロジェクト）各部門出場（3部門）、内入賞（2件以上）。</p>	A	A	<p>新聞紙上でよく拝見している。問題発見能力や解決力を育むとともに学習への自信につながる。今後も生徒の意欲につなげてほしい。</p>
		<p>○SDGsの趣旨を踏まえた、地域を重点視野に入れた農業学習の実施。</p>	A	A	<p>パクチー餃子、三つ葉餃子の今後の販路拡大を期待する。地域理解と実践的な学びは、生徒の生き方につながる大切な取組である。</p>
		<p>○施設の継続的運用と新たな活用方法の検討。</p> <p>○全生徒が授業において施設活用する。</p>	B	B	<p>施設の老朽化など課題が多い。生徒の学びを止めることがないよう工夫や計画的な整備が必要である。</p>
		<p>○公文式等を活用した学び直しの実施。</p>	A	A	<p>朝学習の取り組み定着してきた。生活習慣の改善にもつながる。学びの向上という点からも今後に期待している。</p>
		<p>○シラバスの改善。</p> <p>○基礎力テスト後の分析対応検討。</p> <p>○授業公開週間（年2回以上）。</p> <p>○授業公開への各教員参加（2回以上）。</p>	B	B	<p>普通科目と農業科目などの違いはあるが、積極的な授業公開による研鑽を期待している。基礎学力テストの結果を活かした指導の充実に期待している。</p>
		<p>○各種発表会の積極的な配信等を行い、学校間の連携を深める。</p>	A	A	<p>継続して経験を重ね、やり慣れていくことが重要である。生徒の個性・可能性を伸ばす機会として期待している。賀茂4校との連携を評価する。</p>

様式第5号

エ	積極的な地域貢献と情報発信	○地域防災訓練参加率(50%以上)。	B	B	地域の方との交流などをおしてコミュニケーションは図れている。防災意識の向上と生徒の参加促進に期待している。
		○「総合的な探究の時間」で地域と関わる時間(各学年で2時間以上)。 ○生徒の地域交流機会(1日体験ナース等)の情報提供。 ○生徒の主体的な地域貢献活動への参加	A	A	地域と関わる機会を大切にし、地域に根付く学校環境づくりに努めてほしい。 人と触れ合うことは生徒の成長につながる。
		○分校だよりの隔月発行。 ○ホームページ・インスタグラムの更新(年30回以上)。 ○新聞社等へ取材依頼(年50回以上)。	B	B	地域の回覧板等でも拝見している。積極的に発信してほしい。 今後もプライバシー保護に十分配慮しながら、適切で効果的な情報発信を期待している。
オ	個に応じた丁寧な進路指導	○職場見学、インターンシップ、進路ガイダンス等の実施。 ○年度末までに進路の方向性を決める生徒(1年60%、2年80%、3年100%)。	A	A	地元への就職者を多く出してほしい。 事業所開拓など生徒の進路意識の喚起・向上につながる取り組みが大切である。
		○通級巡回指導の実施 ○スクールカウンセラーによる年度始めの1分間面談と毎月の個別相談の実施とフィードバック。 ○毎学期の面談、生徒情報の教員間共有。 ○学びの基礎診断を実施し、学び直しによる学力分析。	A	A	今後もアンケート結果などを活用してSCにつなげていってほしい。 進路希望を意識し、生徒に学び直しによる学力向上をすすめる必要がある。
		○役場や法人会、企業等と連携。インターンシップ、職場見学、面接練習の実施。	B	B	インターンシップを活用し実践的な進路指導につなげられている。 市町との連携強化(実効性のある仕組づくり)が重要である。 インターンシップを受け入れているが郷土愛を育んでもらえるように努めている。

様式第5号

カ	学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質能力向上の推進	○授業改善・観点別評価の研修（年2回）。 ○チーム研修（年3回以上）。	A	A	教科間の協議やチーム研修による課題解決に加え、発達支援的生徒指導の研修など今後も継続してほしい。
キ	働き方の見直しを図り、働きやすい職場の構築	○夏季休暇の全員取得。 ○時差勤務の推奨。	B	B	心身にゆとりのある指導は、生徒にとって丁寧な関りや指導の質の向上に寄与する。教職員の安定した勤務体制は重要である。植物等の管理もあり休暇取得も難しいが、全員取得を目指してほしい。
		○行事等の見直し実施 ○分掌ロッカーによるファイル管理。	B	B	今後も業務改善に向けた振り返りや行事等の見直しを図る必要がある。ペーパーレス化も大切だが保存期間が過ぎた各種書類の整理をしっかりとしてほしい。
		○充実改善要望（実現5件）。	B	B	職員の負担軽減と働きやすい職場づくりのため、安定した教育環境の充実を図る必要がある。
ク	信頼される学校づくりの推進	○コンプライアンス研修の毎月実施。 ○外部関係者も含めた委員会を複数回開き、コンプライアンス意識の徹底を図る。 ○業務改善提案実践3件以上。 ○内部統制制度「リスク有り」業務についての発生ミス0件。 ○複数年の課題解消1件以上。	B	B	信頼される学校づくりを望む。業務改善提案の改善を進めてほしい。課題であった体育館・渡り廊下・グランドネットの修繕などの課題を踏まえ、計画的な事務執行と継続的な改善を望む。